

横手市「第2期健康よこて21」計画中間評価(案)にお寄せいただいたご意見の概要と市の考え方

1. 募集期間 令和2年1月24日～令和2年2月25日

2. 募集結果 提出者数1名、ご意見項目12件

NO	項目	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	P.8 分野別指標の達成状況	達成状況の分析について、後段の方に項目ごとの考察があるので、この項目では全体的な計画の達成度を考察した記載になると思います。現状は、あまりにも大ざっぱな分析であり、反省や課題をもう少し掘り下げた記載があった方がいいように感じました。	ご指摘の内容につきまして、あくまで「分野別指標の達成状況」の概略を記載したものであり、各項目の考察としては「重点分野別評価と今後の取り組み」に記載しておりますので、ご理解をお願いいたします。 なお、令和6年度の最終評価では、ご指摘頂いた内容を反映できるよう検討させていただきます。
2	P.9 (1)新規指標項目の設置	「設置」ではなく、「設定」か「追加」の方がしっくりいくような気がします。	ご指摘のとおり、「設置」を「設定」に修正いたします。
3	P.9 公共施設で敷地内禁煙を実施している割合	間違いではありませんが、「非喫煙者」とは喫煙しない人のことです。目指すのは禁煙なので「喫煙者の減少」が適切ではないでしょうか。	ご指摘のとおり、「非喫煙者の増加」を「喫煙者の減少」に修正いたします。
4	P.11 健康の駅利用者数 実人数	「現状の目標値では達成できないため」という記載・・・実に寂しい表記に感じます。私なら「健康の駅よこて利用者1万人計画」に基づき、目標値を8,350人に変更します。」と書きたいです。	ご指摘のとおり、「現状の目標値では達成できないため」という一文を削除いたします。

5	P.13 認知症予防 家族支援実施施設	<p>認知症介護を家族だけで抱え込み悩むことが認知症介護の大きな課題です。また、高齢者虐待の要因の一つとして認知症介護の問題があることから、データがないからという理由で指標から削除することは理解できません。このことについて、計画スタート時に基準値や目標を定めたことから、今回、データを示すことが出来なかったことをしっかり検証してその要因を明記して頂きたいと感じました。確か集中チームなどという取り組みを聞いたことがあります……</p>	<p>「認知症予防家族支援実施施設」事業は、家族介護者の要請に応え、直営の介護施設に勤務する職員を家庭に派遣し、在宅介護の知識や技術の向上を図り、在宅介護の不安解消と介護負担の軽減を図ることを目的として実施してきましたが、事業として稼働していないことから、本計画の指標から削除することといたしました。</p> <p>なお、この事業が稼働していない要因としましては、介護サービスや訪問看護等を利用することにより、市民に在宅医療の普及啓発が推進されてきたこと、認知症予防に関して相談窓口が周知徹底されたこと等が考えられます。</p> <p>これに代わる事業として、認知症初期集中支援チーム事業があり、個別への早期介入を行っております。</p>
6	P.14～17 指標の中間実績 値と見直し一覧表	<p>データの根拠資料が示されていますが、抽出調査については、横手市全体の計画として数値の意味合いが違ってくるような気がしました。項目によっては、基準値や中間値など数値の出し方や表し方に工夫が必要と感じました。</p>	<p>中間評価で使用している抽出調査については、本計画策定時と同じ抽出調査項目を用いて比較しておりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>また、ご指摘の基準値・中間値の算出方法については、令和6年度の最終評価に向けて検討させていただきます。</p>
7	P.18～57 第4節 重点分野 別評価と今後の取 り組み	<p>項目にもよりますが、全体的に「……しました。」「……努めます。」というような単純表記や決意表記が繰り返されており、行政計画としての品格に物足りなさを感じます。また、目標達成に向けた取り組みやプロセスを具体的に示していないことに物足りなさを感じました。もっと「Why」と「How」を明確にしなければ評価にならないような気がします。</p>	<p>分野ごとの各項目について、統一的な表現にするため、ご指摘の内容となっておりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>重点分野別評価と今後の取り組みについては、作業部会、庁内検討会、策定委員会、政策会議を経て検討したものでありますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>なお、ご指摘の内容につきましては、令和6年度の最終評価に向けて検討させていただきます。</p>

8	P.26～29 認知症予防	<p>認知症対策について、地域包括支援センターの実績に今ひとつ勢いを感じません。また、地域包括支援センターが目標に掲げている「認知症地域支援員による認知症カフェの設置と相談の確立」も指標に加えて頂きたいと思いました。</p> <p>繰り返しになりますが、認知症の人を抱える家族支援をしっかりと計画に位置付けてくださるようお願いいたします。</p>	<p>地域包括支援センター事業としましては、認知症地域支援推進員設置事業及び認知症初期集中支援チーム事業を実施し、認知症カフェの設置や個別への早期介入を行っております。この事業は、第7期横手市介護保険事業計画、高齢者福祉事業計画に掲載されており、令和2年度には8期計画を策定することになっております。</p> <p>ご指摘の「認知症地域支援員による認知症カフェの設置と相談の確立」につきましては、第2期健康よこて21計画と他計画との整合性をはかり、「第3期健康よこて21」計画策定に向けて検討させていただきます。</p>
9	P.30 心の健康・自殺予防	<p>この項目に関連して、引きこもり対策などの指標はないのでしょうか。いきいきサロンなど他団体の事業も計画に組み入れることから、若者サポートステーションの実績も指標になるような気がしました。また、かがやき教室の実績なども心の健康に関連するような気がします。</p>	<p>引きこもり対策に関しては担当課、若者サポートステーション等の関係機関と連携した取組を展開しておりますが、指標に関しては計画策定時の指標の基準値との比較を行うことで、現行どおりとさせていただきます。</p> <p>ご指摘の内容につきましては、「第3期健康よこて21」計画策定に向けて検討させていただきます。</p>
10	P.41 身体活動 健康の駅と中小規模健康の駅について	<p>「健康の駅よこて利用者1万人計画」を明記する意味で、「か所数」と「利用実人数」を大・中・小駅に分けて示すべきと思います。</p>	<p>中間評価では、基本的には本計画策定時の指標の基準値との比較を行っておりますので、現状どおりとさせていただきます。</p> <p>なお、ご指摘の内容につきましては、「第3期健康よこて21」計画策定に向けて検討させていただきます。</p>

11	P.43 身体活動 主な横手市の事業	この表内に生涯学習課の事業掲載がありますが、生涯学習活動を指標として掲げる必要があるように感じました。	ご指摘の生涯学習活動については、生涯学習課の「横手市生涯学習推進計画」で策定されておりますが、P.34「学びの指標項目」で標記されている指標の中では、本計画の指標に該当する項目はなく、計画内容の整合性を持たせるため、今後次期計画「横手市生涯学習推進計画」（令和3年度末策定予定）の内容を確認し、「第3期健康よこて21」計画策定に向けて検討させていただきます。
12	P.45 たばこ 公共施設で敷地内禁煙を実施している割合(新規)	「公共施設」ではなく、市役所が率先して模範を示す意味で、市が管理する施設を別枠掲載して目標を掲げて頂きたいと思いました。また、「増加」という曖昧な数値でなく、目標値を具体的に上げて、敷地内禁煙はもっと積極的に推進しなければならないと感じています。	<p>現在、敷地内禁煙を実施している横手市の施設は、335施設のうち 112 施設が敷地内禁煙を実施しており、割合としましては 33.43%という結果になっておりますが、敷地内禁煙になっていない施設であっても、施設内禁煙になっている公共施設があるのが現状です。</p> <p>敷地内禁煙が実施されていない施設につきましては、現時点で目標値を数値で表記することができるまで協議・検討がされていないため、今後敷地内禁煙が可能な施設について関連課所室と連携し敷地内禁煙を推進してまいります。このような理由により、現時点では目標値を「増加」といたします。</p> <p>なお、現時点より数%の「増加」を目標としているものではなく、5割・6割それ以上を目指しての「増加」という目標値でありますので、ご理解をお願いいたします。</p>